

平成 30 年度
那覇空港及び那覇バスターミナルにおける
路線バスの利用促進調査業務

報 告 書

平成 31 年 3 月

内閣府沖縄総合事務局
運輸部企画室

- 目 次 -

1. 業務概要	1
1.1 業務の背景と目的	1
1.2 作成する情報提供ツールの基本方針	1
1.3 業務の実施手順	2
2. 業務実施報告	3
2.1 主要観光地の抽出と整理	3
2.2 情報提供ツールの作成	14
2.3 効果検証調査	21
2.4 課題整理・対応策検討	25
3. まとめと今後の課題	29

1. 業務概要

1.1 業務の背景と目的

沖縄本島人口の約 6 割が集中する那覇都市圏では、公共交通機関が極めて脆弱であること、及び極端な自家用車依存が相まって、東京、名古屋、大阪などの大都市に匹敵する交通渋滞が発生し、住民生活のみならず観光や産業の発展、ひいては沖縄振興の大きな支障となっている。

問題の解決に向けて公共交通の活性化を進めていくなど、過度のマイカー依存型の社会・交通構造を脱却し、渋滞解消、公共交通活性化、情報案内の充実等の新たな交通環境の実現に向けたソフト面からの様々な取組を進めていくことが必要である。

以上のような課題解決に向けて、本業務では、公共交通の利便性の向上、利用活性化を図るため、交通結節点となる那覇空港及び那覇バスターミナルにおいて、主要な目的地（公共施設、観光地等）まで公共交通による乗り継ぎが容易にできる情報提供ツールの検討と作成を実施した。また、作成した情報提供ツールに関して、効果検証調査による利便性等の確認を行い、今後の課題整理と対応策の検討を行った。

1.2 作成する情報提供ツールの基本方針

沖縄県における既存の情報提供ツールとして、県内全てのバス路線・バス停を網羅している「バスマップ沖縄」（紙媒体および WEB サイト）や、バス検索アプリである「バスなび沖縄」等があげられる。これら既存の情報提供ツールは豊富かつ網羅性のある情報を提供している一方で、主要な観光地に訪れることを目的とした観光客の目線からは、複雑すぎる側面があった。

本事業では、沖縄に訪れた観光客に対し、バスを用いて、主要な観光地へ容易に乗り継ぎができる情報提供ツールを作成する。

以下に作成する情報提供ツールの基本方針を示す。

①対象

- ・国内観光客（県外）のリピーター層及び、旅先の公共交通利用に慣れている外国人観光客。

②コンセプト

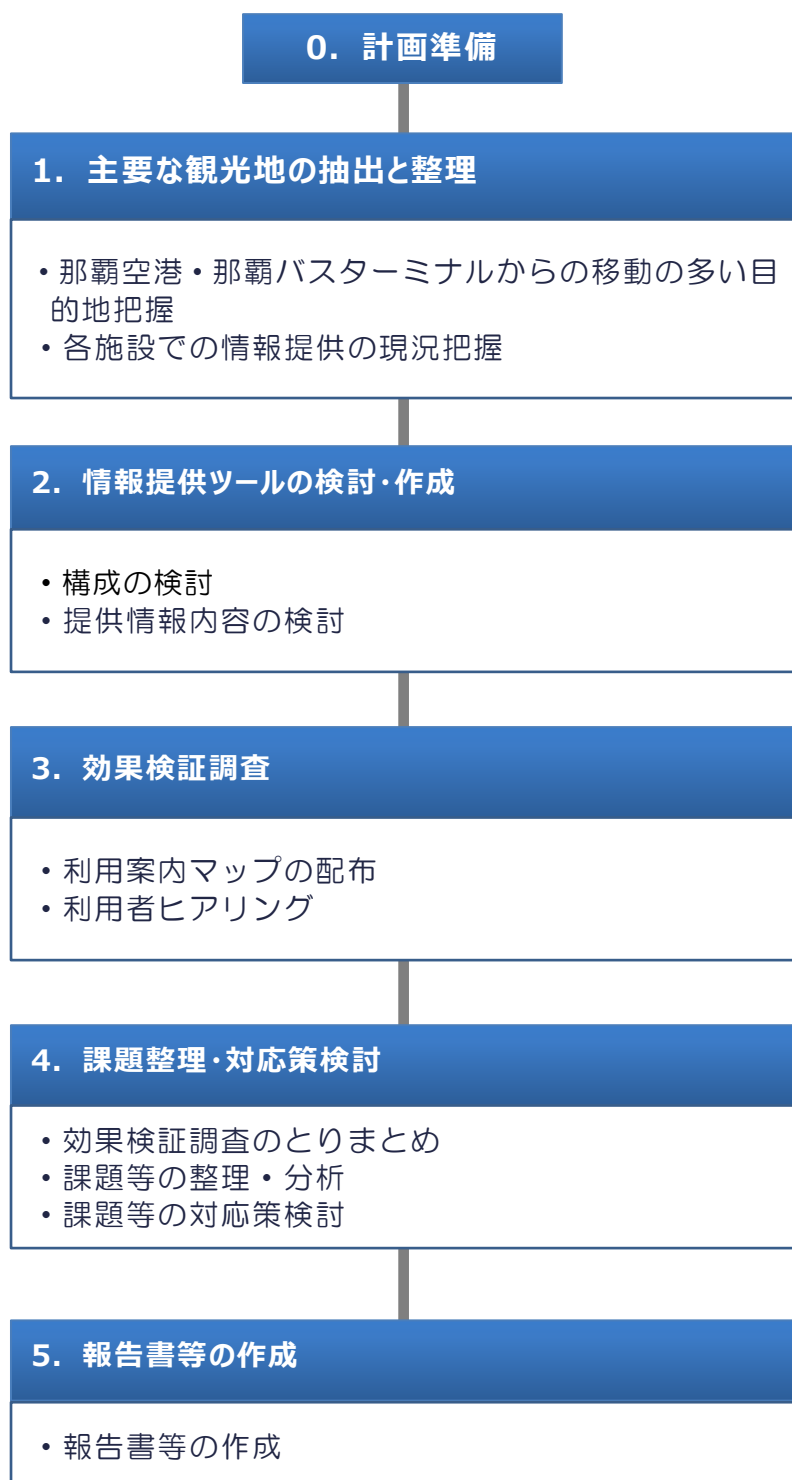
- ・「沖縄の公共交通（路線バス）は複雑。分かりにくい」という印象を排除し、「これなら使えるかも」と感じてもらう公共交通初心者向けガイドとなる情報を提供。

③基本構成

- ・概ね乗換なしで訪れることのできる主要観光地までの「代表的な」ルートと時間・運賃の目安を紹介。
- ・他の行き方、詳細な運行時間については、路線検索サービスやバスマップ沖縄へ誘導。

1.3 業務の実施手順

本業務の実施手順は以下に示す通りである。



図表 1 業務実施フロー

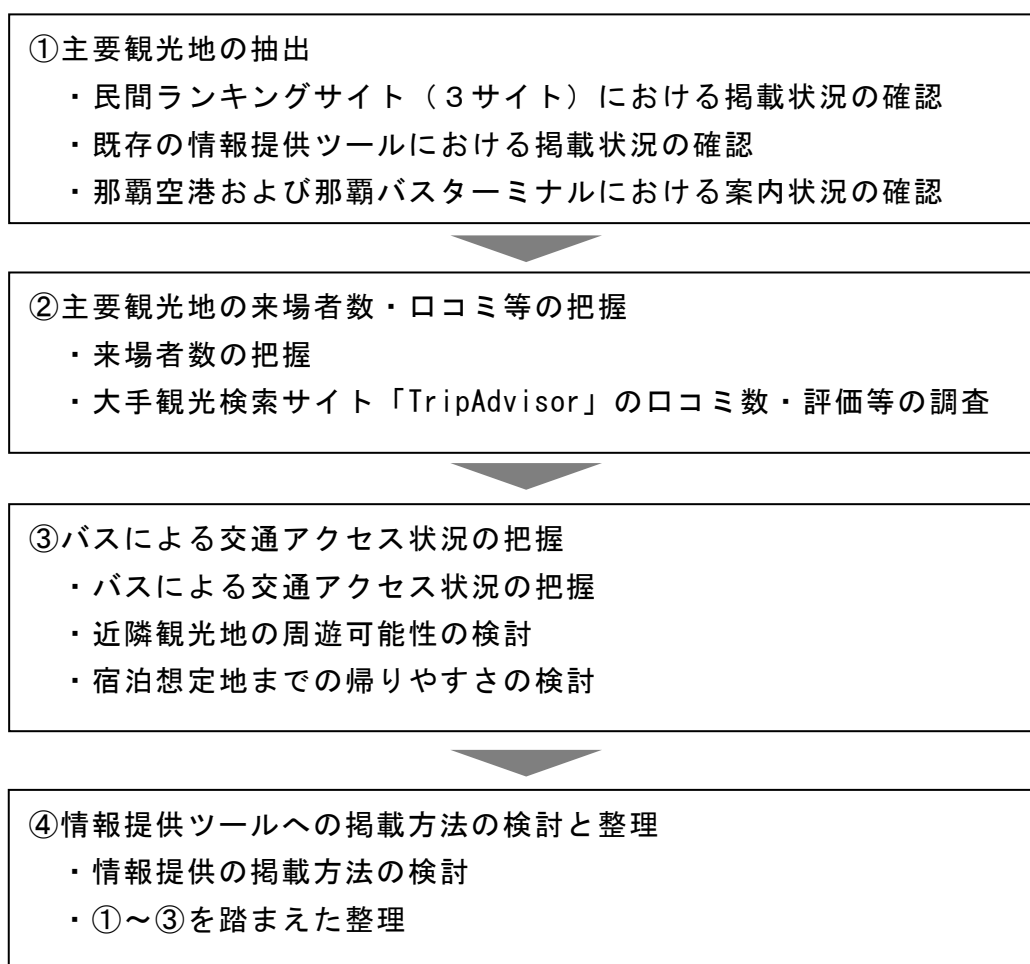
2. 業務実施報告

業務の実施について、以下に示す。

2.1 主要観光地の抽出と整理

情報提供ツールの作成にあたり、主要な観光地の抽出と観光地の各種情報の確認を行った。

観光地の抽出および整理にあたっては、「県内の代表的な観光地であること」、「バスでのアクセスが容易であること」等の観点に留意した。具体的には、民間ランキングサイトや既存の情報提供ツールの掲載状況、案内状での問合せ状況を踏まえ抽出し、さらに来場者数・口コミ数やバスのアクセスを整理し検討した。



2.1.1 主要観光地の抽出

観光客にとって、「沖縄の代表的な観光地」として認知されている必要があるため、本抽出作業では、民間ランキングサイトにおける上位掲載箇所の確認や、既存の情報提供ツールにおける掲載状況を確認した。

また、併せて、県内の主要交通結節点である「那覇空港観光案内所」（那覇空港ターミナル内）および「那覇バスたび案内所」（那覇バスターミナル内）に対し、観光客の問合せ状況等について、ヒアリング調査を実施した。

1) 民間ランキングサイトにおける掲載状況の確認

沖縄県に訪れる観光客の情報ニーズ（実際に訪れたいと思う箇所）を把握するために、民間観光サイトにおける沖縄観光地のランキングの抽出を行った。

以下に、抽出の参考とした民間ランキングサイト（3サイト）を示す。

図表 2 参考とした民間ランキングの概要

No	サイト名	対象順位	URL
1	マイトリップ （楽天トラベル）	1～30 位	https://travel.rakuten.co.jp/mytrip/ranking/spot-okinawa/
2	じゃらん観光ガイド （12 月）	1～50 位	https://www.jalan.net/kankou/470000/?sortKbn=12
3	リトリップ	1～30 位	https://retrip.jp/articles/4791/?page=5

※離島は除外し抽出

図表 3 民間ランキングサイトにおける観光地の掲載状況例

2) 既存の情報案内ツール等の掲載状況の確認

これまで、バスの観光利用促進のための、観光情報案内ツールとして、「那覇空港からのバス利用ガイド」や、「沖縄路線周遊バス」等が発行されている。本調査では、これら既存の情報提供ツールより、抽出した観光地の整理を行った。

また、加えて、沖縄観光コンベンションビューロー運営の沖縄観光情報 WEB サイト「おきなわ物語」の掲載についても確認した。

図表 4 既存情報案内ツール

No	サイト名	掲載数	発行・販売主体	作成年
1	那覇空港からのバス利用ガイド	8箇所	沖縄総合事務局 運輸部	2018
2	沖縄路線周遊バス	23箇所	沖縄路線観光活用戦略会議	2018



①「那覇空港からのバス利用ガイド」



②「沖縄路線周遊バス」

3) 那覇空港および那覇バスターミナルにおける案内状況の確認

交通結節点である那覇空港および那覇バスターミナルの各案内所において、問合せの多い観光地や人気の観光地を確認した。

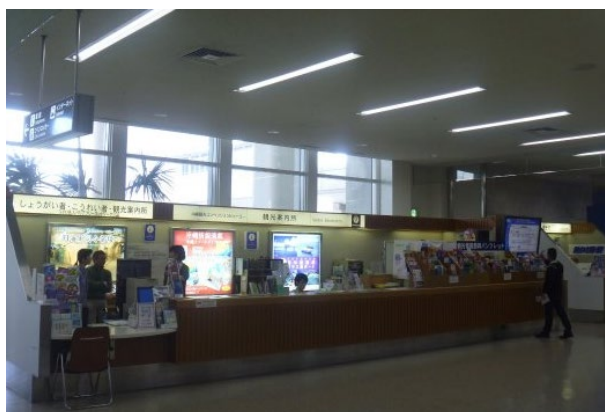
また、同ヒアリングでは、併せて、情報提供状況や、利用者の情報ニーズについても確認しており、同結果については、「2.2. 情報提供ツールの作成」で反映している。

以下にヒアリング実施概要およびヒアリング結果を示す。

図表 5 ヒアリング実施概要

調査対象 実施日	【那覇空港案内所】 実施日：2/8（金） ・ 那覇空港観光案内所 出水マネージャー
	【那覇バスターミナル】 実施日：3/4（月） ・ 那覇バスたび案内所 コンシェルジュ
確認項目	・ 観光客から問合せの多い観光地 ⇒ 北部、中部、南部にて確認 ⇒ ここ最近問合せが多くなっている観光地 ・ 客層の割合および客層ごとの問合せ内容の違い ⇒ 国内外、年齢、同行者など ⇒ 特に外国人観光客については、国籍別に特性があるか確認（台湾、香港、中国、欧米等） ・ イベント・シーズナリティの確認 ・ 掲載候補箇所の妥当性 ・ 観光地への案内状況 ・ 利用者の情報ニーズ ※

※の項目については、「2.2 情報提供ツールの作成」に反映



図表 6 那覇空港観光案内所の様子



図表 7 那覇バスたび案内所の様子

■那覇空港案内所 ヒアリング結果

①日時：平成31年2月8日（金）14：00 ～ 15：00

②場所：那覇空港国内線ターミナルビル2階フードコート

③出席者：那覇空港観光案内所 出水マネージャー

(株)オリエンタルコンサルタンツ 岸本、(株)アカネクリエーション 伊藤

④議事概要：

【北部への問合せ】

- ・「オリオンハッピーパーク」より「ナゴパイナップルパーク」のほうが問い合わせは多い。
- ・「万座毛」の問い合わせは多い印象である。

【中部への問合せ】

- ・「備瀬のビーチ」の問い合わせも多く、「備瀬のフクギ並木」とセットで問い合わせが多い。
- ・「ミュージックタウン音市場」の問い合わせは少ない。沖縄市内であれば、「子どもの国」のほうが多い印象である。
- ・「コザ運動公園」、「浦添市美術館」、「浦添運動公園」、「国立劇場おきなわ」の問い合わせ件数は少ない。
- ・「道の駅かでな」も基地も一望できる場所として問い合わせが多い。

【那覇市内・近郊への問合せ】

- ・那覇市内であれば、「波の上ビーチ」、「波の上宮」の問い合わせはセットで多い。
- ・また、最近では、浦添市港川の「外人住宅街」も多い。
- ・「公設市場」や「平和通り」、「栄町」の問い合わせは増えつつある。
- ・「奥武山公園」、「セルラースタジアム」もセットで問い合わせが多い。

【南部への問合せ】

- ・豊見城の「海軍壕」の問い合わせも多い。

【その他全般】

- ・国籍によって問い合わせの多い観光地は異なる傾向にある。
- ・例えば、韓国籍であれば、「真栄田岬」「北谷」「残波岬」、中国籍であれば、「あしびなー」等である。
- ・欧米客は、ショッピングより、やんばる等への自然観察や、平和祈念公園等を好む傾向にある。
- ・全般的にインスタグラム等のSNSにアップしやすい観光地が好まれている印象である。例えば、空港ターミナル内の「ポークたまご」などは、インスタグラムの投稿とその影響によって、観光客が増えているようである。

■那覇バスたび案内所 ヒアリング結果

①日時：平成31年3月4日（月）13：30 ～ 14：00

②場所：那覇バスターミナル 那覇バス旅案内所前

③出席者：アクシス・ワン コミュニケーション事業部 安里氏、和田氏

那覇バスたび案内所 コンシェルジュ

(株)オリエンタルコンサルタンツ 岸本、(株)アカネクリエーション 伊藤

④議事概要：

【北部の問い合わせ】

- ・北部であれば、「美ら海水族館」が多い。

【中部の問い合わせ】

- ・中部であれば、「アメリカンビレッジ」、「ライカム」が多い。また、ライブを目的として、コザ（ミュージックタウン音市場）も一定程度いる。
- ・那覇バスターミナルの待合所の大型スクリーンに投影される観光地（喜屋武岬、東南植物楽園、コザ等）を観て目的地を決め、問い合わせに来る方がいる。一方で、東南植物楽園や喜屋武岬のように、バス停からは徒歩数十分やタクシー利用が必然となる箇所もあり、バスのみでの案内ができない状況である。

【南部の問い合わせ】

- ・南部であれば、「あしびなー」、「おきなわワールド／玉泉洞」が多い。
- ・識名園は欧米客からの問い合わせがある。
- ・「道の駅いとまん」内の「お魚センター」の問い合わせもある。

【季節性】

- ・イベント時はコンベンションセンター等の大型施設への問い合わせがある。
- ・セルラースタジアム、コザ運動公園等のスポーツ施設はキャンプシーズンだけ問い合わせがある。

【外国人客】

- ・アメリカンビレッジ、おきなわワールドはアジア層からの問い合わせが多い。
- ・中国の方は運賃を気にする傾向にある。
- ・外国人観光客は事前のチケットでの購入を前提と考えている方も一定数いるため、乗り方の記載があることはありがたい。
- ・乗り方では、高額紙幣が使えないことも記載して欲しい。

【その他】

- ・「那覇バスたび案内所」の問い合わせは、沖縄県民と県外観光客は半々である。

観光客のうち、外国人からの問い合わせが6、7割程度である。(コンシェルジュは英語対応可) 観光客は若いカップル、高齢者等である。県民は、高齢の方からの問い合わせがほとんどである。

- 那覇バスターミナル内には、乗り場の案内が少ないため、マップ等で補完してくれることはありがたい。
- 帰ってくる時間、経路の問い合わせも多い。
- 55 系統、56 系統の最終目的地は豊崎、糸満だが、那覇バスターミナル内の乗り場発だと那覇市内を周遊してしまうため困惑される方がいる。市内周遊後に停まる那覇バスターミナル道路添いの 10 番乗り場に行くよう案内している。

4) 主要観光地の抽出結果

以下に、①民間ランキングの掲載状況、②既存情報提供ツールの掲載状況、③那覇空港および那覇バスターミナルにおける案内状況の確認の結果、抽出した観光地の一覧を示す。

図表 8 主要観光地の抽出結果

No	エリア	観光地名称	民間ランキングの掲載状況			沖縄物産 掲載箇所	H29マップ 掲載箇所	周辺バス	ピアリング より追加
			マイトリップ (楽天トラベ ル) 1～30位	じゃらん 観光ガイド (1 2月) 1～50位まで	リトリップ 1～30位				
1	北部	沖縄美ら海水族館	1	1	1	○	○	○	
2	南部	首里城 (園比屋武御殿石門ノ玉陵)	8	9	2	○	○	○	
3	中部	琉球村	6	24	16	○		○	
4	南部	斎場御嶽	14	13	3	○		○	
5	南部	ひめゆりの塔	18	20	4	○		○	
6	中部	海中道路	2	11	17	○		○	
7	中部	万座毛	21	25	13	○		○	
8	南部	ガンガラーの谷	3	35	29	○			
9	北部	瀬瀬のフク木並木	13	7	20	○			
10	北部	ナゴバイナッブルパーク	22	52	11	○			
11	南部	国際通り	5	10	12	○			
12	中部	美浜アメリカンビレッジ		19	7	○	○	○	
13	南部	おきなわワールド 文化王国・宝泉洞			18	○		○	
14	北部	今帰仁城跡		41	10	○		○	
15	北部	オリオンハッピーパーク	7	28		○			
16	北部	古宇利島	4	3		○			
17	中部	勝連城跡	15	40		○			
18	中部	中城城跡	20	39		○			
19	中部	残波岬		49	15	○			
20	南部	産屋やちむん通り		23	23	○			
21	北部	古宇利大橋	17		18	○			
22	南部	アウトレットモールあしびなー		45		○	○	○	
23	中部	真栄田岬	12			○		○	
24	中部	やちむんの里	11			○		○	
25	南部	旧海軍司令部		17		○			
26	南部	平和祈念公園		31		○			
27	南部	沖縄県立博物館・美術館	28			○			
28	南部	牧志公設市場			26	○			
29	南部	識名園	24			○			
30	北部	もとぶ元氣村	10			○			
31	北部	やんばる海の駅	16			○			
32	北部	屋我地島	19			○			
33	北部	比地大滝	23			○			
34	北部	辺戸岬	29			○			
35	北部	道の駅 許田 やんばる物産センター		16		○			
36	北部	ネオパークオキナワ		50		○			
37	中部	ビオスの丘			14	○			
38	中部	伊計ビーチ	9						
39	中部	伊計島	27						
40	中部	イオンモール沖縄ライカム				○	○	○	
41	南部	とまりん				○	○	○	
42	中部	沖縄コンベンションセンター					○	○	
43	中部	トロピカルビーチ				○		○	
44	中部	ミュージックタウン音市場				○	○		
45	中部	沖縄こどもの国				○		○	
46	中部	産喜味城跡				○		○	
47	南部	国立劇場おきなわ				○		○	
48	中部	コザ運動公園						○	
49	南部	美らSUNビーチ						○	
50	北部	慶佐次のマングローブ						○	
51	南部	あざまサンサンビーチ				○			
52	南部	久高島				○			
53	南部	Tギャラリア DFS				○			
54	南部	栄町市場				○			
55	中部	東南植物楽園(下へ)				○			
56	南部	清瀬市美術館				○			
57	中部	恩納村西海岸リゾート							○
58	中部	サンセットビーチ							○
59	北部	磯崎ビーチ							○
60	南部	港川外人住宅							○
61	南部	サンエー メインプレイス							○
62	南部	波の上ビーチ							○
63	南部	波の上宮							○
64	南部	奥武山公園							○
65	南部	沖縄セルラースタジアム那覇							○
66	中部	道の駅かてな							○
67	南部	清瀬運動公園							○

※ランキングについては離島を除く。

2.1.2 主要観光地の来場者の把握・口コミ数・評価の確認

2.1.1 にて、抽出した県内の主要な観光地について、情報提供ツールの掲載の参考とするために、来場者数、口コミ数、評価等の確認を行った。

なお、確認にあたっては、外国人観光客の各観光地の訪問状況を把握するため、海外にも利用者の多い、大手観光検索サイト「TripAdvisor」にて、各観光地のコメント合計数、評価、国籍別（言語別）のクチコミ数の割合を確認した。

また、各観光地の来場者数については、各観光地の公式サイトや、新聞記事、各種報告書を参考に可能な範囲で確認を行った。

①年間来場者数の確認

- 各観光地の年間来場者数を把握
⇒観光地公式サイト、新聞記事、各種報告書を参考
⇒確認できない観光地については、「—」で表示

②「TripAdvisor」のクチコミ数、国籍の確認

- クチコミ総数
- 国籍（言語）の把握
⇒日、英、繁、簡、韓で確認
- 評価（5段階）

No	エリア	観光地名	年間来場者数 (万人)	TripAdvisor クチコミ数 合計 (件)	TripAdvisorの各言語ごとのシェア					TripAdvisor 評価 (5段階)
					日本語 (%)	英語 (%)	中国語 (%)	韓国語 (%)	インドネシア語 (%)	
1	北部	沖縄美ら海水族館	378	5,030	69%	16%	9%	0%	6%	4.6
2	中部	喜望峯西海岸リゾート	—	—	—	—	—	—	—	—
3	中部	琉球村	138	671	72%	14%	11%	10%	4%	4.0
4	中部	イオンモール沖縄ライカム	1,200	407	55%	21%	24%	23%	5%	4.0
5	中部	天海アメリカンビレッジ	—	1,250	58%	22%	10%	9%	11%	4.0
6	中部	サンセットビーチ	—	482	59%	17%	14%	13%	11%	4.0
7	中部	沖縄コンベンションセンター	—	91	89%	5%	0%	2%	0%	3.5
8	中部	トロピカルビーチ	—	208	78%	10%	7%	7%	4%	4.0
9	南部	アウトレットモールあしびなー	—	650	78%	10%	14%	14%	1%	3.5
10	南部	斎場御嶽	35	947	93%	5%	2%	2%	1%	4.0
11	南部	ガンガラーの谷	—	457	89%	8%	4%	4%	1%	4.5
12	南部	おきなわワールド 文化王国・玉泉洞	—	1,136	68%	17%	11%	11%	2%	4.0
13	南部	ひめゆりの塔	55	390	88%	3%	0%	0%	0%	4.5

2.1.3 主要観光地のバスによるアクセス状況の把握

2.2.1 で抽出した主要な観光地について、最寄りバス停からの徒歩の所要時間や、運行本数、空港・バスターミナルからの距離などの観点から、バスでの「行きやすさ」を確認した。

なお、確認にあたっては、情報提供ツールのスタート場所となる那覇空港、那覇バスターミナルの2地点からの確認とした。

■バスのアクセス状況の確認項目

- ・ 距離、乗車時間（北部）
- ・ 最寄りバス停から目的地までの徒歩に要する時間（20 分以上は除外）
- ・ 一日あたりの運行本数および頻度
- ・ 乗車料金
- ・ 乗換の有無 等

2.1.4 掲載観光地の抽出

2.1.1 から 2.1.3 にて抽出した観光地の情報をもとに、情報提供マップの掲載方法について、整理を行なった。なお、抽出の際に、公共交通で訪れにくい箇所については除外した。

情報提供ツールに掲載する観光地は、実際の観光客の周遊をイメージし、空港・バスターミナルから観光地の行き方だけではなく、主要な観光地からバスで訪れることができる近隣の観光地とその行き方についても掲載する方針とした。

また、バス路線沿いや、人気の観光スポットについても、おおよその位置関係が把握できるよう、行き方は示さないがプロットのための掲載とした。

以下に情報提供ツールにおける観光地の掲載の考え方について示す。

また、次ページに抽出・整理した観光地一覧表を示す。

図表 9 観光地掲載の考え方

分類	考え方	掲載方法
メイン掲載箇所 （10 箇所）	・ 代表的な観光地 ・ 徒歩 15 分以内 ・ 運行本数 10 本以上	・ 空港・BT からの経路を表示
サブ掲載箇所 （9 箇所）	・ 徒歩 15-20 分以内 ・ 運行本数 5 本以上	・ メインからの経路を表示
プロットのみ掲載箇所 （8 箇所）	・ 徒歩 15-20 分以内 ・ 運行本数 5 本以上	・ 地図上にプロットのみ
市内拡大図掲載箇所 （9 箇所）	・ モノレールとの併用が考えられる市内観光地	・ 市内拡大図にプロット

図表 10 掲載観光地の抽出結果

区分	No	エリア	観光地名称	民間ランキングの掲載状況			沖縄物語	H29マップ 掲載箇所	周遊バス	年間入場者数 (万人)	TripAdvisor クチコミ数 合計 (件)	TripAdvisorの各言語ごとのシェア					TripAdvisor 評価 (5段階)	備考 (周辺バス停など)	
				マイトリップ (楽天トラベ ル) 1～30位	じゃらん 観光ガイド (1 2月) 1～50位まで	リトリップ 1～30位						日本語 (%)	英語 (%)	簡体語 (%)	繁体語 (%)	韓国語 (%)			
メイン 掲載箇所	1	北部	沖縄美ら海水族館	1	1	1	○	○	○	378	5,030	65%	16%	9%	9%	6%	4.5	記念公園前	
	2	中部	恩納村西海岸リゾート							—									
	3	中部	琉球村	6	24	16	○		○	136	671	72%	14%	11%	10%	4%	4.0	琉球村	
	4	中部	イオンモール沖縄ライカム				○	○	○	1,300	407	55%	21%	24%	23%	5%	4.0	イオンモール沖縄ライカム/比嘉西原	
	5	中部	美浜アメリカンビレッジ		19	7	○	○	○	—	1,250	58%	22%	10%	9%	11%	4.0	美浜アメリカンビレッジ入口	
		中部	サンセットビーチ							—	482	59%	17%	14%	13%	11%	4.0	美浜アメリカンビレッジ入口	
	6	中部	沖縄コンベンションセンター					○	○	—	94	89%	5%	0%	2%	0%	3.5	コンベンションセンター前/真志喜	
		中部	トロピカルビーチ				○		○	—	208	79%	10%	7%	7%	4%	4.0	コンベンションセンター前/真志喜	
	7	南部	アウトレットモールあしびなー		45		○	○	○	—	650	76%	10%	14%	14%	1%	3.5	沖縄アウトレットモールあしびなー/あしびなー前	
	8	南部	斎場御嶽	14	13	3	○		○	35	947	93%	5%	2%	2%	1%	4.0	斎場御嶽入口	
9	南部	ガンガラーの谷	3	35	29	○			—	457	89%	8%	4%	4%	1%	4.5	玉泉洞前		
	南部	おきなわワールド 文化王国・玉泉洞		18	9	○		○	—	1,136	68%	17%	11%	11%	2%	4.0	玉泉洞前		
10	南部	ひめゆりの塔	18	20	4	○		○	56	390	96%	3%	0%	0%	0%	4.5	ひめゆりの塔 (糸満乗り換え)		
サブ 掲載箇所	11	北部	今帰仁城跡		41	10	○		○	25	791	88%	6%	6%	6%	1%	4.0	今帰仁城址入口 (徒歩15分)	
	12	北部	備瀬のフク木並木	13	7	20	○			—	815	86%	6%	4%	3%	6%	4.0	備瀬入口/HオリオンモトFR	
	13	北部	ナゴバイナップルパーク	22	52	11	○			—	979	70%	17%	10%	10%	3%		3.0	ワタンジャ原
	14	北部	オリオンハッピーパーク	7	28		○			100	317	75%	13%	0%	9%	3%	4.5	世富慶/名護城入口	
	15	中部	真栄田岬	12			○		○	—	443	69%	20%	12%	10%	4%	4.5	真栄田	
	16	中部	やちむんの里	11			○		○	—	389	92%	6%	0%	3%	1%	4.0	親志/親志入口 (徒歩10分)	
	17	南部	旧海軍壕司令部		17		○			—	356	67%	26%	5%	5%	0%	4.5	とみぐすく南	
	18	南部	あざまサンサンビーチ				○			6	75	85%	9%	0%	3%	3%	4.0	あざまサンサンビーチ入口	
		南部	久高島				○			6	226	55%	5%	0%	0%	0%	4.5	あざまサンサンビーチ入口/安座間港より船。1日6便	
19	南部	平和祈念公園		31		○			—	540	71%	24%	8%	7%	1%	4.5	平和祈念堂入口 (糸満乗り換え)		
プロットのみ 掲載箇所	20	北部	古宇利島	4	3		○			80	947	87%	4%	8%	8%	1%	4.5	古宇利島 (やんばる急行)	
	21	北部	備瀬崎ビーチ							—	129	88%	5%	0%	2%	5%	4.5		
	22	中部	ミュージックタウン音市場				○	○		—	39	90%	13%	0%	0%	0%	3.5	中の町/胡屋	
		中部	沖縄こどもの国				○		○	49	155	61%	25%	22%	22%	0%	4.0	中の町/胡屋	
	23	中部	座喜味城跡				○		○	5	397	76%	13%	0%	8%	3%	4.0	座喜味 (徒歩15分)	
	24	中部	勝連城跡	15	40		○			17	480	86%	9%	5%	4%	1%	4.5	西原/勝連城址	
	25	中部	中城城跡	20	39		○			13	322	80%	16%	0%	7%	1%	4.5	久場 (徒歩15分)	
	26	中部	残波岬		49	15	○			—	647	68%	15%	15%	14%	5%	4.0	残波岬ロイヤルホテル (リムジン)	
27	南部	港川外人住宅							—	15	67%	0%	0%	33%	0%	4.0			
市内拡大図 掲載箇所	28	南部	沖縄県立博物館・美術館	28			○			42	613	67%	17%	10%	10%	4%	4.0	県立博物館ほか	
		南部	サンエー メインプレイス							—	200	64%	11%	25%	24%	4%	4.0		
		南部	T ギャラリーA DFS				○			—	994	90%	5%	4%	4%	2%	3.5	おもろまち駅前/おもろまち駅前広場	
	29	南部	とまりん				○	○	○	—	352	93%	0%	3%	3%	3%	3.5	泊高橋	
	30	南部	首里城 (園比屋武御嶽石門/玉陵)	8	9	2	○	○	○	286	4,685	65%	18%	9%	9%	4%	4.0	山川/首里城公園入口	
	31	南部	国際通り	5	10	12	○			—	2,331	69%	13%	13%	12%	3%	4.0	県庁北口/松尾/牧志ほか	
		南部	牧志公設市場			26	○			226	2,071	71%	12%	13%	13%	2%	4.0	県庁北口/松尾/牧志ほか	
	32	南部	栄町市場				○			—	109	94%	5%	0%	4%	1%	4.0	メディカルプラザ大道中央	
	33	南部	壺屋やちむん通り		23	23	○			—	22	95%	5%	0%	0%	0%	4.0	牧志/壺屋	
	34	南部	識名園	24			○			7	484	72%	15%	10%	10%	3%	4.0	識名園前 (徒歩5分)	
	35	南部	波の上ビーチ							—	827	61%	14%	15%	15%	3%	3.5		
		南部	波の上宮							—	662	60%	9%	28%	27%	1%	4.0		
南部		奥武山公園							—	163	70%	6%	21%	21%	3%	4.0			
南部		沖縄セルラースタジアム那覇							—	45	98%	2%	0%	0%	0%	4.0	公園前		

2.2 情報提供ツールの作成

国内外の観光客を対象として、わかりやすいバス利用のためのガイドとなるよう構成、情報内容、デザインを検討した。

情報提供ツールは、公共交通の結節点となる那覇空港発と、那覇バスターミナル発の2タイプを作成した。那覇空港版と那覇バスターミナル版は、基本的に同様の構成としているが、便数や路線本数が異なるため、適宜デザインを調整した。

2.2.1 情報提供ツールの概要

情報提供ツールの概要を以下に示す。

①対象

- ・国内観光客（県外）のリピーター層及び、旅先の公共交通利用に慣れている外国人観光客

②コンセプト

- ・「沖縄の公共交通（路線バス）は複雑。分かりにくい」という印象を排除し、「これなら使えるかも」と感じてもらう公共交通初心者向けガイドとなる情報を提供。

③基本構成

- ・概ね乗換なしで訪れることのできる主要観光地までの「代表的な」ルートと時間・運賃の目安を紹介。
- ・他の行き方、詳細な運行時間については、路線検索サービスやバスマップ沖縄へ誘導。

④デザイン表記上の留意点

- ・視認性を高めるとともに利用しやすさの観点から、下記の対応を実施

方面別：色分け

のりば番号：実際のバス標識と同じ色に統一

系統番号表示：実際のバス方向幕の色と同じ色に統一

空港リムジンバスエリア表示：実際の運行案内で表示されている色と同色に統一

バス停表記：バス会社の車内放送に準拠

⑤仕様

- ・那覇空港版（那覇空港～目的地）、那覇バスターミナル版（那覇バスターミナル～目的地）の2タイプを作成
- ・判型：A2 判 二つ折り 経本 6 つ折り
- ・紙質および印刷：コート 90kg 両面カラー
- ・言語：日本語、英語、繁体、簡体、韓国語の5言語
- ・部数：那覇空港～目的地 各言語それぞれ 1 万部（合計 5 万部）
那覇バスターミナル～目的地 各言語それぞれ 1 万部（合計 5 万部）

2.2.2 情報提供ツールの基本構成

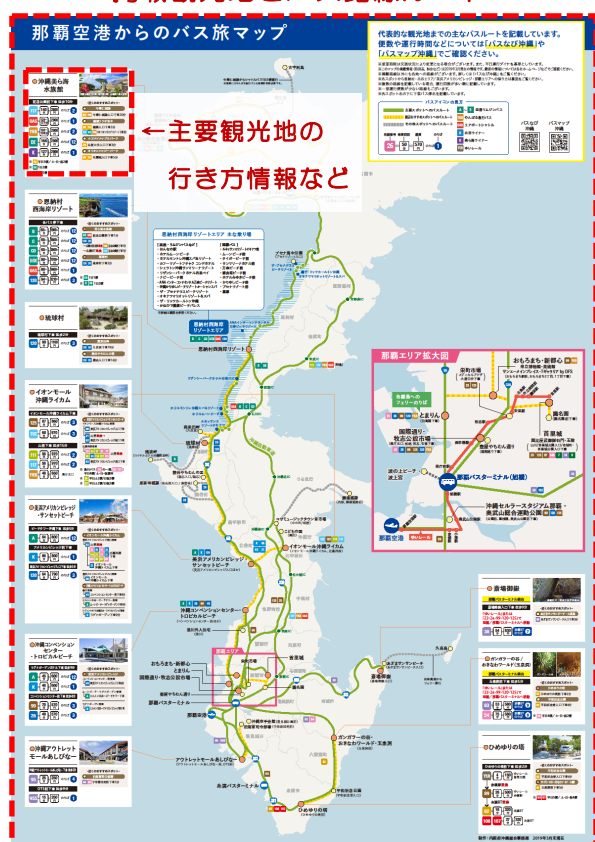
情報提供ツールの基本構成については、マップ掲載面（表面）にて、目的地までの系統・所要時間等が把握できるようにし、裏面に宿泊地までの帰り方や問合せ先等の情報を掲載した。以下に構成および提供内容の概要を示す。また、次ページ以降に各項目の詳細な構成、情報内容について示す。

表 面	①掲載観光地とバス路線ルート ②主要観光地までの行き方等
裏 面	③表紙 ④宿泊地までの帰り方 ⑤高速バス・リムジンバスの時刻表等の情報 ⑥問合せ先 ⑦バス乗り場及び乗り方案内 ⑧周遊バス及び OKICA の情報 など

《表面》

《裏面》

掲載観光地とバス路線ルート



バス乗り場及び乗り方案内



表紙



宿泊地までの帰り方

問合せ先

周遊パス及び OKICA の情報

図表 11 情報提供ツールの構成

2.2.3 各項目の情報内容

情報提供ツールに掲載されている各項目の内容について、以下に示す。

■目的地への行き方

目的地のうち、メイン掲載箇所については、那覇空港・バスターミナルからの経路を掲載した。なお、経路については、便数が少なく乗り換えが不便と想定される経路等は除外した。

メイン掲載箇所への経路の情報として、「下車バス停名」、「目的地までの徒歩所要時間」、「系統番号」、「所要時間」、「運賃」、「乗り場（那覇空港・バスターミナル）」を記載した。なお、サブ掲載箇所については、メイン掲載箇所からの「系統番号」「下車バス停名」を記載した。

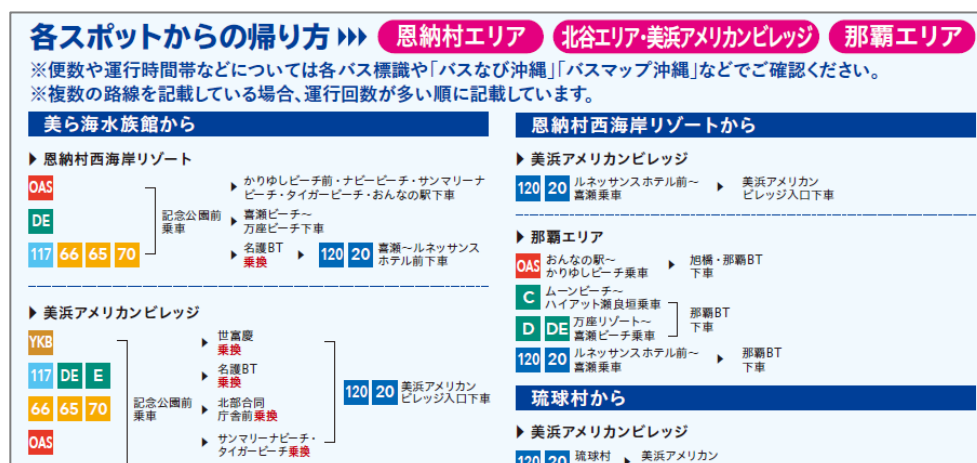


図表 12 目的地への行き方経路標記例

■想定される宿泊地までの帰り方

各案内所における問合せ状況を確認したように、利用者は、那覇空港および那覇バスターミナルから目的地（メイン・サブ）への行き方だけではなく、各自の宿泊地等までの帰り方についても情報ニーズがあると考えられる。

以上を踏まえ、マップ裏面に想定される一般的な宿泊地（恩納村・美浜アメリカンビレッジ・那覇エリア）までの主なバスルート（＝帰り方）を記載した。



図表 13 宿泊想定地までの帰り方の記載例

また、その他、WEB 購入や WEB にて詳細な案内を行っている「エアポートシャトル」、「やんばる急行バス」、「高速バス 111・117」、「北谷ライナー」、「美ら海ライナー」についても、各サイトへリンクする QR コードを掲載した。

また、「沖縄路線バス周遊パス」と「OKICA」の情報を掲載した。

図表 14 問合せ情報

また、ヒアリング調査では、乗り方の問合せが多いとのことだったので、乗り方の案内について、記載した。



2.2.4 制作結果

検討の結果、制作した情報提供ツールを次ページに示す。

また、同情報提供ツールは、以下の通り、5 言語分を制作した。



日本語版



英語版



繁体字版



簡体字版



韓国語版

図表 16 制作した 5 言語一覧（情報提供ツールの表紙）

代表的な観光地までの主なバスルートに記載しています。
便数や運行時間などについては「バスなび沖縄」や
「バスマップ沖縄」でご確認ください。



図表 17 制作した情報提供ツール（日本語版の例：マップ面）

2.3 効果検証調査

作成した情報提供ツールについて、「情報提供」「わかりやすさ」等の観点から利便性を検証した。利用者に必要十分な情報提供、利用促進に寄与するかを確認・検証するとともに、改善点を抽出し、最終版へ反映した。

2.3.1 調査概要

調査の概要を以下に示す。

図表 19 効果検証実施概要

日 時	日程： 3 月 21 日（木） 時間：8 時 30 分～18 時
調査方法	①県内在住の調査モニターに対して、観光客目線で実施に情報提供ツール（那覇空港版）を参考にして、那覇空港から複数の目的地（主要＋サブ）まで訪れ、宿泊想定地まで周遊 ⇒周遊中は、実際の観光客同様に、本事業の情報提供ツールの他、バスナビ沖縄や各種乗り換えアプリ、地図サイト等を併用 ②利用後に情報提供ツール案に対する利便性や実用性を検証するためのインタビュー調査を実施
調査対象	◇13 名の県内在住者 ・日本人（日本語版）：5 名 ・外国人（英語版）：8 名 （アメリカ人 2 名、中国人 3 名、台湾人 3 名） ◇調査時は 7 組にて実施
調査項目	◇利用路線、経路等 ◇情報内容の適切性の評価、改善要望等 ・問題なく移動（旅行）できたか ・情報内容が正確であったか ・情報内容が適切であったか、妥当であったか ◇見やすさ・わかりやすさの評価、改善要望等 ◇使いやすさ・携行性の評価、改善要望等 ◇情報満足度 ・バス旅行を誘引するツールであると思うか

2.3.2 調査結果

モニター調査の結果、7 組（13 人）のモニターの全てが、本事業で作成した情報提供ツールを用いながら事前に計画した各目的地を周遊することができた。

調査結果を以下に示す。

（1）目的地および経路について

調査のグループの国籍および実際に利用した経路を以下に示す。

図表 20 グループおよび目的地について

グループ	国籍・人数	経路
A	台湾 2 名	那覇空港⇒ライカム⇒コザ⇒アメリカンビレッジ⇒那覇 BT
B	中国 2 名	那覇空港⇒アメリカンビレッジ⇒港川外人住宅⇒那覇 BT
C	台湾・中国 2 名	那覇空港⇒あしびなー⇒海軍壕司令室⇒那覇 BT
D	米国 2 名	那覇空港⇒琉球村⇒真栄田岬⇒那覇 BT
E	日本 2 名	那覇空港⇒ひめゆりの塔⇒玉泉洞⇒那覇 BT
F	日本 2 名	那覇空港⇒斎場御嶽⇒おもろまち⇒那覇 BT
G	日本 1 名	那覇空港⇒ホテルムーンビーチ⇒やちむんの里⇒那覇 BT



図表 21 調査説明の様子



図表 22 周遊中の様子



図表 23 周遊中の様子



図表 24 周遊後のヒアリングの様子

(2) ヒアリング結果

モニター周遊後のヒアリング結果を以下に示す。

※ () に国内観光客、海外観光客の発言かを記載。

1) 情報内容の適切性について

①良かった点

- ・目的地までの行き方が分かりやすく示されており参考になった。また、帰り方も示されており、参考になった。(国内・海外)
- ・「路線バス周遊パス」が紹介されており、購入したほうが安かったため購入した。本情報提供ツールは料金も示されているため、検討には適していると感じた。(国内)

②要望・改善点

- ・一つの媒体で時刻表等の情報までわかるとよい。(国内・海外)
- ・見やすさとのバランスになるが、各観光地情報もあると使いやすい。(国内・海外)
⇒各観光地の WEB サイトに飛ぶ QR コードだけでも便利。(海外)

2) 情報内容の正確性について

①良かった点

- ・乗り換えアプリと併用したが、金額、所要時間、降車場所が正しく記載されていた。(海外)
- ・系統番号が正しく記載されていたため、間違えずに目的地までたどり着くことができた。(国内)

②要望・改善点

- ・時刻表に記載されている所要時間と、実際の所要時間は、渋滞等によって変化する場合が多いと思われる。バスの現在地の分かるサイトへリンクしているとよい。(海外)

3) 見やすさ・わかり易さについて

①良かった点

- ・地図への観光地のプロットと、観光地の写真と行き方が一面で掲載されており見やすかった。(国内・海外)
- ・目的地に行くのに必要な路線と系統番号だけが示されており、分かりやすかった。

②要望・改善点

- ・本島全域のため、情報を絞っていると思われるが、南部、中部などのエリアごとの情報案内ツールもあるとわかり易い。(海外)

4) 携行性について

①良かった点

- ・ポケットに入る大きさであったため、持ち運びやすかった。(国内・海外)

②要望・改善点

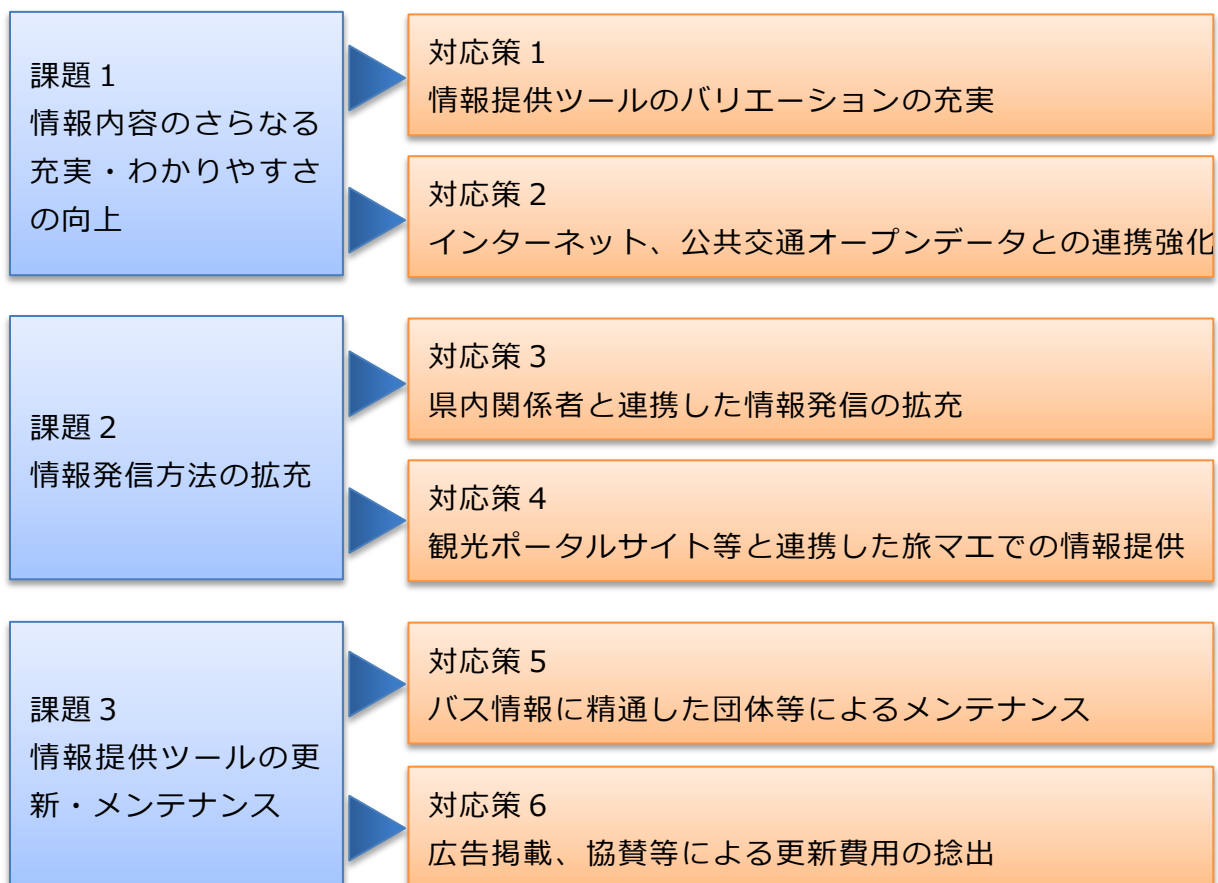
- ・冊子型の案内ツールもあっていいかもしれない。(海外)

5) その他について

- ・旅行前の移動計画を立てる段階にとっても役立つと思う。移動中は情報提供ツールに紹介されているアプリ（バスなび沖縄）と併用しながら使った。(海外)
- ・バスの乗り方は分かりやすく参考になった。(海外)
- ・紙媒体は、外国人観光客のように、携帯が繋がらない・繋がりにくい人にとっては便利だと思う。(海外)

2.4 課題整理・対応策検討

情報提供ツールの制作結果や、効果検証調査の結果、関係者との協議結果等より、本情報提供ツールに係る課題を整理するとともに対応策を検討した。



課題、対応策の検討結果について以降に示す。

2.4.1 情報提供ツールに係る課題整理

課題1 情報内容のさらなる充実・わかりやすさの向上

- ◆本業務で制作した情報提供ツールは、「観光客向け」に「路線バスによる観光が沖縄で楽しめることの動機づけ」を主目的に、見やすさや分かりやすさも重視し、情報内容を極力絞って掲載する方針で作成した。
- ◆効果検証調査の結果では上記目的に対しては、一定の評価を得た一方で、以下のような意見も見られ今後検討していくことが必要である。
 - ・一つの媒体で時刻表等の情報もわかるとよい
 - ・観光情報をもう少し詳しく知りたい
 - ・極論すると自分の行きたい場所への情報、知りたい情報のみがわかればよい 等

課題2 情報発信方法の拡充

- ◆本業務で制作した情報提供ツールは、那覇空港および那覇バスターミナルの案内所のほか、那覇市内の宿泊施設や、本ツールに掲載した観光施設等での配布を予定している。また、沖縄総合事務局 HP 上にも掲載し、各バス会社や、沖縄観光コンベンションビューロの HP 等からもリンクがされる予定である。
- ◆配布および情報提供開始後の状況をモニタリングしつつ、観光客が本情報提供ツールにふれる機会を増やすための情報発信の拡充を図っていくこと重要となる。

課題3 情報提供ツールの更新・メンテナンス

- ◆バスの時刻表や路線は頻繁に変更があるため、正確な情報を提供し続ける上では、情報の更新が重要となる。
- ◆情報の更新や、更新した情報提供ツールの印刷には、費用が発生するため、誰がどのように本情報提供ツールを更新・メンテナンスをし、どのように情報更新にかかるコストを捻出するかを検討する必要がある。

2.4.2 課題に対する対応策の検討

対応策1 情報提供ツールのバリエーションの充実

- ◆本業務では、那覇空港版、那覇バスターミナル版の情報提供ツールについて、本島全域を対象として作成を行った。本島全域を対象としたことは、県内で広域的にバス旅ができることを伝える上では有効であったと考えられる一方で、観光客の多様なニーズに対応し、より詳細な情報を掲載していくことも重要であると考えられる。
- ◆そのため、以下のような情報提供ツールの作成を検討し、ツールのバリエーションを充実させていくことで、多様な観光客ニーズに対応していくことも求められる。

- ・南部版、中部版、北部版、那覇版、八重山版、宮古版等のエリア版の作成による情報内容の充実
- ・観光テーマを絞った情報提供ツールの検討（例：世界文化遺産版など）

対応策2 インターネット、公共交通オープンデータとの連携強化

- ◆本業務では、バスナビ沖縄やバスマップ沖縄へのリンク（QRコード）を掲載し、時刻表やバスロケーションシステムなどインターネットとの連携を図った。
- ◆一方でバスナビ沖縄は県民向けのため観光客には分かりづらい側面もあり、バスマップ沖縄のHPも初心者にはハードルが高いことも想定される。
- ◆現在、沖縄県の進める観光2次交通情報のオープンデータ化が進むと、観光客が日常から利用しているGoogle MapやYahoo乗換案内、各種乗換検索サイトでの現在地⇒目的地までの検索が可能になる見込みである。
- ◆県事業の進捗を見ながら、本情報提供ツールとの連携を進めることが求められる。

対応策3 県内関係者と連携した情報発信の拡充

- ◆レンタカーでの観光がデフォルトに近い実態となっている沖縄県において、路線バスで観光が楽しめることを観光客に周知する上では、本情報提供ツールのような媒体を観光客の目に触れる機会を増やすことが重要となる。
- ◆その上では、県内の観光施設や宿泊施設、旅行事業者、業界関係者への本ツールの周知を行い、各施設への配置の促進やHP上でのリンク等を推進していくことが求められる。
- ◆レンタカー会社からも、特にインバウンド観光客の中には、実際はレンタカーを借りたく無い観光客がいるとの声もあり、外国人観光客による事故が問題となっていること等も勘案すると、レンタカー営業所での本ツールの配布も検討していく必要がある。
- ◆県のわった〜バス党事業と連携した周知等も考えられる。

対応策 4 観光ポータルサイト等と連携した旅マエでの情報提供

- ◆県内の各施設等における情報提供は、予定を完全に決めていない観光客や次回来訪時の旅程の検討には有効と考えられるが、多くの観光客が旅マエの段階で県内の移動手段を決定している（レンタカーを予約している）ことを踏まえると、旅マエでの情報提供を拡充していく必要がある。
- ◆その上では、観光情報のポータルサイト（例：たびらい沖縄（下図））等と連携し、本ツールを周知していくこと等が求められる。

【たびらい沖縄でのレンタカーを利用しない情報提供の例】



対応策 5 バス情報に精通した団体等によるメンテナンス

- ◆本情報提供ツールの更新・メンテナンスは、県内のバス路線やバス情報に精通し、日頃からバス情報に触れ、バスマップ等を管理している方が実施することが望ましい。
- ◆具体的には、バス会社各社、沖縄県バス協会、バスマップ沖縄等が考えられ、今後調整していく必要がある。

対応策 6 広告掲載、協賛等による更新費用の捻出

- ◆本情報提供ツールの情報更新・増刷には費用がかかる。具体的には最低でも年間 100～200 万円程度のコストがかかることが想定され、更新費用を捻出していく必要がある。
- ◆本ツールの趣旨や公益性を勘案すると、沖縄県等の行政からの補助が望ましいと考えられるが、難しい場合には、以下等を検討していく必要がある。

- ・ ツールへの広告枠の作成と広告掲載
- ・ 本情報提供ツールの趣旨に賛同する団体・個人からの協賛（ツールへの協賛者名の掲示） 等

3. まとめと今後の課題

本業務では、公共交通の利便性の向上、利用活発化を図ることにより沖縄本島内の交通渋滞緩和につなげることを目的とした情報提供ツールを作成した。具体的には、主に「観光客」を対象に「路線バスでの観光を動機づける」ための沖縄本島バス旅ガイドを、那覇空港版、那覇バスターミナル版の2種類、5言語（日本語、英語、簡体字、繁体字、韓国語）で作成した。

情報提供ツールは、上記の「観光客への公共交通を利用した観光の動機づけ」の目的等を踏まえ、またバス路線網やバス情報が観光客には難しいことを鑑み、必要最小限の情報を極力見やすく・分かりやすく掲載する方針で作成した。効果検証調査の結果、本情報提供ツールは、①一定の動機づけ効果があること、②本ツールをもとに現地情報やインターネット情報を組み合わせることで複数の観光地を路線バスで周り宿泊地に帰れること、③情報量、分かりやすさ、見やすさ等が適切であると考えられること、等を把握することができた。

今後は、那覇空港や那覇バスターミナルの案内所を中心に、本ツールを活用いただくとともに、本報告書の2.4で示した課題と対応策についても検討していく必要があると考えられる。

特に本情報提供ツールの更新・メンテナンスについては、民間による自走化を前提とした場合でも、行政によるバックアップ・支援も重要であると考えられ、一過性でない取組とするため、引き続き関係者との協議・意見交換をしていくことが必要である。

県内の公共交通の利用促進については、国や県の各部局を中心に、交通渋滞の緩和、住民の足の確保、観光客の満足度向上等の観点から各種の取組が進められており、今後も各主体において積極的な取組を推進するとともに、今以上に情報共有を図り、より相乗効果の高い取組を進めていくことが求められる。

平成 30 年度
那覇空港及びバスターミナルにおける
路線バスの利用促進調査業務 報告書

平成 31 年 3 月

内閣府沖縄総合事務局
運輸部企画室